

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

村上英明議員

5 災害時要援護者避難支援プランについて

【質問1回目】

○村上英明議員 5番目の災害時要援護者避難支援プランについてお尋ねいたします。

災害時要援護者避難支援プランにつきましては、災害時に援護を要する方への近隣や地域の共助ということを基本に、公助として情報伝達体制や避難支援体制の整備を図って、要援護者の方を地域や福祉施設などにより安全に避難していただけるかということだというふうに思っております。

そこで、身体の状態、また介護の状態、そして家族の状態など、個人情報に関係も含めまして、どこまで地域支援組織に情報提供するかなど、関係者、関係団体との調整など多くの課題もあると思います。

しかしながら、災害はいつ起こるかわかりませんし、災害発生に備えての避難訓練にも活用していざというときに機能することが大切であるというふうに思いますので、一日も早い避難プラン策定を望んでおりますけれども、私の認識では、この進捗というのが少しおくられているように感じますので、現在の進捗状況と今後の動きについてお尋ねしたいと思います。

【質問1回目への答弁】

○堤保健福祉部長 災害時要援護者支援事業の進捗状況と今後の動きについてのご質問にお答え申し上げます。

災害発生時に避難支援を必要とする方などの情報を日ごろの防災訓練等で活用するため、地域支援組織にみずからの情報を提供することに同意していただける同意要援護者台帳の整備に向け、平成25年2月1日付広報を初め、障害者団体や民生児童委員、介護保険事業者など関係福祉団体や関係機関に制度の周知を図っております。平成25年5月末現在で229名の登録をいただいております。

今後は市民の皆様へさらなる周知を図るとともに、地域支援組織である自主防災組織を初め、自治会、老人クラブ、民生児童委員など関係機関の協力を得ながら、平成25年度中にモデル地区を設けて地域での災害時要援護者支援体制の構築を図ってまいりたいと考えております。

【質問2回目】

○村上英明議員 災害時要援護者避難支援プランについてでありますけれども、先ほどの答弁で、今後平成25年度にモデル地区を設けて地域での支援体制を構築していくというふうにもございました。モデル地区の方々には大変お世話になりますが、モデル地区での情報や意見を踏まえて、市内へ少しでも早く、よりよい内容で広げていっていただきたいというふうにも思っております。

また、その中で災害発生時によりの確な支援を行うためには、平常時から要援護者、また地域がともに認識しておくことが大切であるというふうにも思っております。例えば、どの部屋におられるのか、また病院や施設に行っておられる頻度や内容、またあるいは身内などへの連絡先など、行政よりも場合によっては近所の方のほうが情報量が多い場合もあると思います。その意味でも、いざというときの避難支援を行うに当たりまして、災害発生時によりの確な支援活動を行うためにも、平常時からの家族との対話、また近所づき合いを含めた支援活動が大切であると思いますけれども、どのように認識されているのか、この点をお尋ねしたいと思います。

【質問2回目への答弁】

○堤保健福祉部長 災害発生時、よりの確な支援活動を行うため、平常時の支援活動の認識についてお答え申し上げます。

災害時要援護者避難支援体制の構築に向け

～会議録抜粋～ 会議録より抜粋し、「一問一答形式に編集」したもので正式な会議録ではありません。

===平成25年第2回定例会 一般質問===

村上英明議員

5 災害時要援護者避難支援プランについて

たモデル地区では、同意要援護者台帳の情報を地域支援組織に提供し、防災訓練など地域の活動に役立てていただければと考えております。実際に要援護者の方を交えて防災訓練を行うことにより、車椅子が必要な方や障害のある方が避難する際の対応方法などでさまざまな気づきがあり、そのような体験を通して、地域の皆様による要援護者への見守りなど日常生活における意識の涵養に役立てていただければと考えております。

また、モデル地区で集約した情報や意見をもとに、地域支援組織と行政がおのものの役割に応じた災害時要援護者支援体制を構築し、全市内に広げてまいりたいと考えております。全市域に広げていくに当たりましては、地域に説明に出向き、地域のご要望をお聞きしながら市としての支援体制を検討してまいります。

【質問3回目】

○村上英明議員 災害時要援護者避難支援プランについてでありますけども、地域の支援組織につきましては、小学校区、あるいは地区単位、あるいはまた老人クラブ、民生委員、そして児童委員になってくると思いますけども、モデル地区での体制構築やその後の市内へ広める際にも、個人情報を出しながらということになりますので、例えば先日行われておりましたけども、ひとり暮らし高齢者名簿のときと同様に、小学校区または地区単位あるいは自治会や町会単位など、より小単位に丁寧な説明をお願いしたいというふうにも思っております。そしてまた、対象者の中でも避難支援を要する方と自力で避難可能な方などもおられるというふうにも思っておりますので、個々人や家庭の状況によって対応していただきたいとお願いし、要望とさせていただきます。